

授業科目	*キリスト教学(新約聖書)				単位	2		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	NU10102J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1			
担当教員	古川 敬康							
授業概要	<p>「感恩奉仕」という建学の精神は、教義の基準を聖書におくキリスト教に基づいています。</p> <p>授業では、前期の続きとして聖書の後半を学びます。具体的には、まず、キリスト教の誕生を扱い、その後は時の流れを追って、生前のイエス、その死後にイエス・キリストを信じる者の希望を現代の私たちの問題に学問的に関連させながら学びます。</p> <p>授業は、祈りで始まります。授業を補うこととして、学生の皆さんには、チャペル礼拝の出席と教会訪問レポートが求められます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. キリスト教の誕生、生前のイエスの宣教活動とキリスト教の中心となっている事柄を理解し説明できる。</p> <p>2. 聖書全体のテーマを理解し、説明できる。</p> <p>3. 授業で学んだキリスト教の価値観を現代の自分の置かれた問題と関係させて考え表現することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	5	0	25	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	60		5		15		80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)					5	5	10	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>標準レベルのことに加えて、以下のことが実行できる。</p> <p>予習として、毎回、授業のテーマの聖書箇所を読み、テキストの分からない漢字の意味を辞書で調べておく。キーワードと思われる用語、疑問や自分の考えを書き留めておく。聖書、讃美歌、テキストを準備しておく。</p> <p>授業中は、新たな疑問や発見したことを書き留め、クラスで分かち合うことができる。</p> <p>復習として、ノートを見ながら、授業で学んだテキストをもう1回読む。</p> <p>手がかりとなるものがなくても、行動目標を実行できる。</p>				<p>予習として、毎回、テーマのテキストの箇所を1回、読む。</p> <p>授業中は、用語の意味を書き込み、板書事項を写し、感想や疑問などのコメントを書いて提出する。</p> <p>復習は、テキストを読み返し、授業で学んだ内容を理解できたか、また、キーワードと思われる用語を確認し理解する。</p> <p>課題を行い、レポート提出は期日を守る。</p> <p>自作のノートやテキストを見ながら行動目標が求めている内容を実行できる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	第1章 イエスとキリスト—キリスト教の誕生 (1)イエス死後に誕生したキリスト教成立の謎	講義	テキスト「4. 1」をよむ。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
2	(2)イエス・キリストに対する2つの信仰	講義	テキスト「4. 2」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
3	(3)イエス・キリストの復活	講義	テキスト「4.3」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
4	(4)イエス・キリストの神性と人間性： まことの神・まことの人	講義	テキスト「4.4」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
5	第2章 新約聖書の文学—豊かな福音への拡張 (1)イエスの説く「神の国」	講義	テキスト「5.1」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
6	(2)弟子たちの選び	講義	テキスト「5.2」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
7	(3)手本としての主体的愛	講義	テキスト「5.3」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
8	(4)イエスの生命を賭けた無条件の赦し	講義	テキスト「5.4」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
9	(5)イエスによる全人間性回復の癒し	講義	テキスト「5.5」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
10	(6)ゲッセマネの祈り—苦難の意味	講義	テキスト「5.6」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
11	(7)イエスの死に見る逆説的勝利	講義	テキスト「5.7」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
12	第3章 イエス・キリストを信じる者にある希望 (1)逆説的弱さ: 恵みを体験する「実存」としての弱さ	講義	テキスト「6.1」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
13	(2)実存的自由—人権的自由と救済的自由	講義	テキスト「6.2」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
14	(3)真の平和を目指して—世界人権宣言	講義	テキスト「6.3」を読む。 テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
15	まとめ	講義	ノート、テキストを最初から振り返る。特に、目次を振り返る。	90
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	テキストに用いられている用語の意味を確認しておくこと 各授業のテーマのテキスト単元を予め3回、目を通す技能を身に着けること 聖書にある章と節を短時間で開くことができる技術を身に着けること			
テキスト	古川敬康著『キリスト教概論－新たなキリスト教の架け橋』勁草書房,2014年。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	聖書、讃美歌。 参考文献：ロバート L. ショート著『スヌーピーたちの聖書のはなし』笹野洋子訳、講談社。 その他、随時、講義で紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	自分とは誰で何かという自己理解(アイデンティティ)の形成や自己創造の対話の相手として聖書物語のイエスに触れてください。 そのために役立つ学習方法としては： 1. どのテキストも3回以上読む習慣を身につけること 2. 集中力を高めること 3. 自分の住まいの近くの教会へ行くこと 4. 福音書を自分だけに聞こえるように小声で音読すること			
達成度評価に関するコメント	試験(定期試験60点)、レポート(教会訪問レポート5点)、レポート外の提出物(各授業で提出する、下記の加減点表、予復習表、授業コメント25点)、その他(チャペル礼拝出席10点) 加減点表の内容： 減点各1点(聖書、讃美歌、テキストの不持参3回毎) 加点各2点(テキスト読破感想文400字以上:1回目、2回目、3回目まで)			